

八重東小型「ファシリテーション」による授業づくり

八重東小学校

授業におけるファシリテーター（教師）は、知識や解決策を提示するのではなく、子どもが持つ経験値や知識、感情を尊重し、寄り添い、問いかける。今、教育に求められているのは、いかに「教え伝える」かよりも、いかに「引き出し、児童の考えや思いを編み合わせる」場を創り出していけるかである。本校では、「ファシリテーション」を、「児童の主体的・対話的で深い学びを促すために、児童の言動を価値づけたり、意図的に課題発見・解決のために学び・話し合いの方向性を考えさせたり質を高めたりするなど、学習目標を達成しやすくするために教師が行う言動」と定義する。

ファシリテーションの種類と活用場面・具体的な言動

ファシリテーションの種類	具体的な言動・「問いかけ」
<p>1. 授業計画のファシリテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材研究、単元・個別の目標・問いを設定する・学習形態を考えるなど、学習の準備・計画をする。 <p>【単元・授業の導入時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の学ぶ意欲を喚起する問題・資料等の提示 ○児童に課題等を発見させ、解決の見通しを持たせ目標を設定させたり学習計画を立てさせたりする。 	<p>具体的な言動・「問いかけ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教材研究をし、めざす子供像等を考慮して、本質的な問い・単元を貫く問い・個別の問い等について考え単元構想を練る。 ●児童の学ぶ意欲を喚起する単元のゴールを設定し単元構想シートを作成する。 <p>【単元学習の最初に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自発的に単元を貫く問いを考えさせる事象・問題・資料等を提示する。 ○「（単元の学習内容に係る）たくさんの疑問・学習したいことを見つけよう」 ○「どのようにして、課題を解決していけばよいか」 ○「単元の学習計画を立てよう」
<p>2. 授業進行のファシリテーション</p> <p>(1) 進行ファシリテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次の活動を指示したり発問したりして授業を進行する。 ○机間指導・発言によって児童の考えを捉え、個別指導や授業の進行計画を見直す。 <p>(2) 深める（構造化）ファシリテーション</p> <p>【個人の意見の構造化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○論点・根拠・主張をはっきりさせ、意見を成立させる ○児童の発言を受け止め、不足している場合は補う。 ○論理の飛躍が起こっている場合は確認・訂正を行う。 <p>【集団での意見の構造化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○複数人の意見をつなげて一つの意見を成立させる。 <p>(3) つなぐファシリテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の一つひとつの意見を授業に位置づける。 ○ある児童の意見の再現や言い換えを、他の児童に促したり、教師自身が復唱したりして教室全体に広げる。 ○既習事項と関連付けするなど過去の学習を想起させる。 ○「教科書の内容を確認する」「見方や考え方を価値づける」ことで新しい知識や、見方・考え方とつなげる。 ○次時の学習を知らせるなどして今後の学習・自主学習へとつなげさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童とともに作成した学習計画に基づいて個別の授業を進める。 ○「今日は、〇〇について学習します。or「今日は、どんな学習をしますか」 ○「本時の学習の流れは、先ず〇〇、次に～～、最後に〇〇をします」 ●腰別・グループ・全体学習など学びの場・方法を児童に示し学びを進めさせる。 <p>【悩んでいる児童へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「どういうことで悩んでいるの」「どうしてそう考えたの」 ○「これまでやったことを書き出して考えを整理してみよう」 ○「後、なにがあればできると思うの」 ○「誰に聞けば、どこを何で調べれば分かると思うの」 ○「他にそれに関する情報がありそうなところはない」 ○「他の方法は試しの」「他の捉え方をした人はいますか」 <p>【学び合いを深めるために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個人で課題解決等の考えについてまとめさせる。その後、全員に発表させる（付箋・タブレット端末の活用） ●児童とともに、似ている意見や考えをグルーピングする。 ●児童とともに、内容グループごとに見出しをつける。 ○「一つの意見にまとめると、どういうことになるかな」 ○「意見が色々出ていますが、皆さんどのようにならうか」 <p>【一人の児童の考えを全体で共有するために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童の意見を教師が復唱する。 ●児童の意見を他の児童に復唱・言い換えをさせる。 <p>【考えを深めるために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（個別・班学習をし等をし多様な意見・考えがだた後）皆さんから出た意見・考えについて、質問はありませんか ○「課題を解決するヒントがないか、教室・黒板に書かれているものを見てみよう」 ○「課題を解決するヒントがないか、今まで学習したことを振り返ってみよう」 ○「課題を解決するヒントがないか、教科書の内容を確認してみよう」 ○「今日、分かったこと・まだ解決していないことはどんなかな」
<p>3. ファシリテーションの態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○間違いが許され質問が安心してできる学習集団づくり ○傾聴する。※教師の聞き姿勢は、様々な形（視線、動き、表情など）で児童に伝わる。 ○見取る ※児童は、口調、言葉づかい、表情などで様々なメッセージを発している。それらを教師が観る力も大切。 ※教師が話すときの口調、言葉遣い、児童との距離感も、内容に劣らないメッセージになっている。 	